

No.113

震災に使える山用品 あかり編

笹原芳樹
カモシカ・スポーツ



“完全な LED ランタン”

2商品あるが、いずれも右が収納時。どちらもブラックダイヤモンド社製。左はアポロ ¥5,250 80ルーメンでかなり明るい。電池込 320g(単3、4本別売り)最大電池寿命60時間(低照度)。右はオービット ¥3,780 45ルーメンで小さい割に明るい。電池込 130g(単4、4本別売り)最大電池寿命24時間(低照度)。どちらも無段階照度調整機能、明暗はボタンの長押しで可能。立てられる他に、ダブルフックでテントや木の枝などに吊り下げられることもできる。



山屋のための高性能電池 左がリチウム 単3、4本入 ¥1,379 右がパナソニック エボルタ 4本入(アルカリ) ¥651 LED ランタンも電池が切れれば何の役にも立ちません。



細いろうソク使用の小ワザ

単独では立ちにくい仏壇用ろうソクもカラビナや大型のナスカンで挟めばガゼン安定します。大地震に備え更にカンカラ(内側が光るのがベター)に入れておけば更に安全です。

もう、あつという間に2ヶ月ほど経ちますが、東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。更なる復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

あの日、私は

3月11日14時46分、私は西武秩父駅と秩父鉄道・お花畑駅間のアーケード内とある一軒で早くも下山祝いをしていました(念のため言っておきますが、早朝よりロウバイで有名な宝登山周辺の山へ行ってたのですからね)。すごい揺れの直後に停電。店員さんが飛んできて「外へ避難を！」私は「あ

の、お酒がまだ半分……それに支払いは？」その会話の間にもけっこう揺れていましたが、「お代は結構！」とまで言われ、残ったお酒を横目で見つつ、駅前のロータリーに出ました。

電車は当然ストップ。山の中を走る西武線より平地に行く秩父鉄道が動くだろうと考えましたが、こちらでも動く見通しなしです。この時は日本災害史上たいへんな事になっているなんて知るよしもなく、地震は埼玉県あたりだけかも……なんて思う、いや思いたかったのかもかもしれません。それにしてもケイタイは通じず、そば屋に入っただけの店内でヘッドンを取り出し飲み直してもテレビも映らず、人のうわ

さ話ばかり(あとで近所の人のラジオを聞きましたけど)……そう大反省です。昔は山行時には小型ラジオを持ち歩いてたのに、いつの間にか持つのをやめていたのです。電池式のラジオがあれば情報は得られたのですが。この時以来、毎日背負っているDパックにはいつもラジオが入っているようになりました。

というわけでラジオは大切、水も重要、次は「あかり」でしょうか？ 秩父では停電のそば屋で日中でも使いましたし、特にトイレはまっ暗でしたので他のお客さんにお貸ししたいへん喜ばれました。もともと私の通勤用Dパックには以前から常にヘッドンは入っ

てますけれど。

ところで計画停電とやらには参りました。近所のお店がすべて休みになっちゃうんですね。自分の住んでいるところがこんなに暗くなるのかと新しい体験でした。でも私も含め山屋さんはあまり動いてないですよ。山用品がかなり使えるわけですから。ヘッドンはもとより、家の中ではやはりLEDのランタンがベターでしょう。ガスランタンより燃料代は安いし、火を使わないので安全です。ただし電池はある程度余分に用意しておきましょう。それも通常のアルカリ電池では持ちが3年ほどですから、リチウムやパナソニックのエボルタなら10年も保存可能です(特に前者はアルカリの約3倍長持ちと山屋のためにあるような電池)。山で順次使っていけばいいので、常にストックしておきたいですね。

「ウチはろうソク、それも仏壇用の細いのしかないんだよなあ」って方、カラビナ利用で安定できます。

次回も防災で使える山道具のお話です。